

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	661	青山ふれあいフェスタ開催事業	会計	01	一般会計
基本施策	43	伊賀ブランドの価値を高め、売り出す	款	06	農林業費
			項	01	農業費
			目	03	農業振興費
担当部課名	青山支所産業建設課			細目	101 農業振興経費
作成者氏名	山内 敏	連絡先	32-3220		細々目 01 青山ふれあいフェスタ開催事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	農家、林家、農林業関係団体、小売業・飲食業・製造業等事業者	成果(どうなるのか)	地場産業の発掘、振興を図る。
	本年度事業内容	地場産品の紹介と販売促進のため「第1回ふれあいフェスタin青山」を開催した。		
開始年度	平成	年度	終了年度	平成 年度
根拠法令・要綱等				

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.2	0.2
	人件費合計(A)	3,600	1,440	1,440
②支出内訳(千円)	事業費(B)	2,500	2,000	2,000
	委託料			
	補助金	2,500	2,000	2,000
	その他			
合計(A+B)		6,100	3,440	3,440
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担 その他特財			
一般財源		6,100	3,440	3,440
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
入場者数	人	4000	6,000	9000			
農産物朝市売り上げ額	円	78,350	150,000	200,000			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
入場者数	入場者が多いほど、PR効果は大きい	人	4000 目標 ()	6000	9000
農産物朝市売り上げ額	朝市の売上額は地場産品の販売額であり、その増減は入場者数と比例していると考えられる。その他ブースの売り上げもほぼこれに比例するものとすれば、農林業を始めとする地場産業の振興に直接的な効果が期待できる。	円	78,350 目標 ()	150,000	200,000

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

本年は、従来の「お祭り」主体の農産物の「ふるまい」的イベントを廃止し、出展者には原則「ふるまい」禁止を徹底し、また、これまで参加が無かった農家組合長会主催の「とれたて朝市」と「農産物品評会」を実施した。また、アトラクションも有料化した。来客数の激減が心配されたが、ほぼ昨年並みの動員数になった。今後ともより多くの農家等の参加を得つつ、住民による自主的な運営のできるイベントとして確立させ、産業振興につなげるものである。

評価	必要性	4	「朝市」の実施で、生産者と消費者のふれあいが商品の取引を通じて行われたことは、大きな成果があった。今後は出品者の輪をさらに広げてシステムを定着させ、恒常化させて行く必要がある。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		